

第3 障害者スポーツ文化センターラポール運営事業

障害者スポーツ文化センター横浜ラポール・ラポール上大岡は「リハビリテーションサービスの向上」「豊かな人生への支援」「共生社会実現への取組」を基軸としながら、障害者の多様化するニーズに即した事業を実施します。

事業の実施にあたっては、これまでに蓄積したノウハウを最大限に活かしたプログラムの展開、地域資源との連携を強化した取組、障害者のスポーツ・文化活動に関する積極的な情報の発信に努めます。

横浜ラポール・ラポール上大岡における令和6年度の重点項目は、次の3項目です。

- より多くの障害のある方に利用していただけるよう、競技団体や関係団体と連携した教室等の開催や各施設の利用方法の助言などコーディネート機能を強化します。また、プールとラポールシアターの大規模改修工事を機に、他施設でも活動ができるように助言・支援を行います。【拡充】
- 様々な障害のある方が安心・安全に利用でき、「来てよかった」「また来たい」と思っただけのようなホスピタリティーあふれる施設運営を行います。特に、他施設の利用が難しい重度障害のある方も利用していただけるように、機器の工夫なども含め各施設を運営します。【継続】
- 障害者スポーツ・文化活動の中核施設として、培ったノウハウを障害者福祉施設等の日中活動の場で活用してもらえるように支援を継続します。また、情報発信については、様々な障害の方に届けられるよう工夫します。【継続】

1 スポーツ振興

- 重度障害のある方が気軽に運動・スポーツに触れ、楽しむことができる環境づくりを目的に、リハセンター研究開発課と連携して、障害特性に配慮したスポーツ・レクリエーション機器の開発を進めるとともに、それを使用した体験会や教室を開催します。【拡充】
- バasketボール等今まで着手できていなかった種目を中心に、障害の種類・程度、ニーズに応じて選択・参加することができるスポーツ教室や体験会を、競技団体及び関係団体と連携して実施します。【拡充】
- 身近な場所で体を動かすことが楽しめるよう障害者福祉施設等への出張支援を継続し、スポーツを継続してできるよう近隣の施設間の交流も支援します。また、スポーツ協会、スポーツ推進委員、さわやかスポーツ普及委員会等と連携し、障害のある方が地域のスポーツイベントに参加できる環境づくりを行います。【継続】

2 文化振興

- ラポールで実施している事業に、より多くの障害のある方が参加できるよう工夫します。特に重度障害のある方も文化芸術活動に参加しやすいよう、プログラムの開発と環境整備に取り組みます。【拡充】
- 令和6年度後半に、ラポールシアターの天井改修工事等で、舞台発表や鑑賞、ワ

ークショップ等が実施できなくなるため、ラポール上大岡を含めた市内の各施設で実施します。初めて利用する施設のアクセス等の情報提供の充実と、施設側にも障害者が利用しやすい施設づくりの助言を行います。【拡充】

- 障害者アーティストが、発表に対して一步を踏み出せるためのきっかけとして、ラポール内だけでなく文化芸術作品等の発表の機会を確保し、アーティストの発掘・育成に努めます。【継続】

3 聴覚障害者情報提供施設

- 令和6年度から横浜市要約筆記者登録試験とそれに付随する事業がラポールの指定管理事業となります。横浜市をはじめとした関係団体と密に連絡を取り、円滑で確実な実施に努めます。【新規】
- 手話や聴覚障害者に関する理解を広める啓発講座を、引き続き地域の支援者対象に実施します。また、当事者団体と連携して市内大学等へ訪問するなど、将来的な手話通訳者の増を目的とした若年層へのアプローチに取り組みます。【拡充】
- 手話通訳者・要約筆記者の研修については、引き続きオンライン配信形式と集合形式を内容や目的により使い分け、効果的なスキルアップに努めます。【継続】

4 ラポール上大岡

- 障害者スポーツの競技普及、選手の育成と強化、インクルーシブスポーツ環境の整備事業を一層充実させるため、横浜市スポーツ協会との連携による実施体制の強化を図ります。【新規】
- これまでの障害者福祉事業所支援を通じて顕在化したニーズのうち、特に地域の就労支援施設利用者の健康づくりに注力し、運動・栄養の両面から支援を実施します。【拡充】
- 障害のある方のスポーツ・文化活動を支援する指導者・ボランティアに対し、スキルアップ研修の機会や情報交換の場を充実させ、支援者の活動をサポートします。【継続】